

院内トリアージの実施について

救急外来は、迅速な医療を必要とする緊急度の高い患者を対象として24時間体制で受け入れている外来です。

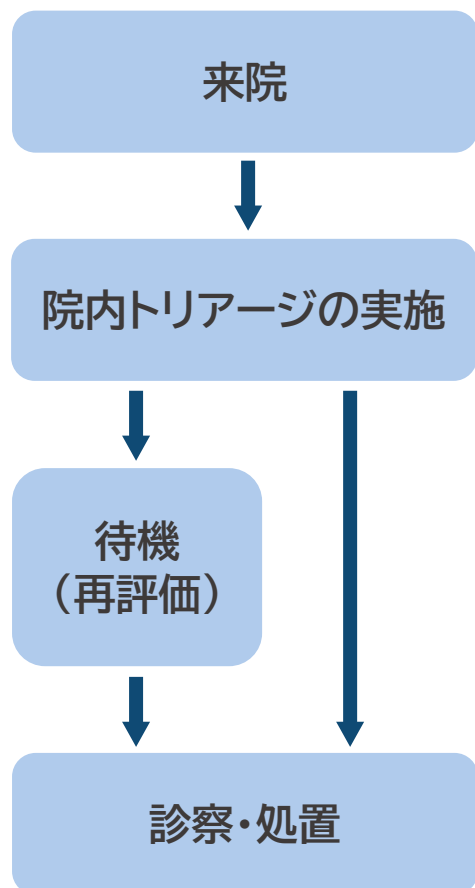
このため、救急外来での治療行為は、緊急対応や応急処置が中心となります。近年、全国各地で「平日休めない」や「日中は用事がある」等の理由で、本来重傷者の受け入れを対象とする救急外来を、症状が軽い方が時間外や休日に受診するといった実態があり、当院もその例外ではありません。このことから、緊急度の高い患者に優先度に応じて医療を提供できる体制の確保の一環として、救急外来では院内トリアージ（優先順位の決定）を実施しています。

院内トリアージとは

受付後、診察前に専門知識を有した看護師が症状をうかがい、緊急度・重症度を判断し、より早期に治療を要する方から優先して診察する方法です。

したがって、受付順の診察ではないため、待ち時間が長くなる場合があります。

受診の流れ



院内トリアージ

5段階の緊急度判定(JTASに準拠)

レベル1:蘇生レベル

レベル2:緊急

レベル3:準緊

レベル4:低緊急

レベル5:非緊急

レベル1が最も緊急度が高い。

ご理解とご協力をお願いします。

平成25年10月1日 病院長